

# 『七宝焼き』

七宝焼きは、素材の上にガラス素材の七宝絵の具をのせ、炉に入れて焼くことで、オリジナリティーのある作品を創造する活動である。自らの手で作品を作り上げる喜びを体験することができるとともに、作り上げた作品を見て研修の素敵な思い出を振り返ることもできる。

- 【時期】 通年  
【所要時間】 2時間以上  
【対象】 小学校高学年以上  
【定員】 40名  
【準備】 (団体) 七宝焼きの材料(ブローチ・キーホルダーから選択)、  
ゴミ袋、雑巾、新聞紙



※七宝焼きの材料は、事前に教材等購入申込書を提出する。

(自然の家) 七宝電気炉、七宝絵の具(ゆう薬)、その他七宝焼き道具一式

- 【指導】 自然の家職員は、道具の使い方と作業手順の説明のみ行う。活動中の安全管理は、団体の引率者が行う。

## 【展開例】

- 職員は1時間半～2時間前に、炉のスイッチを「焼成」に入れ、800～900℃に設定する。  
※非常に熱くなるので、近づかないことを徹底する。
- 銅版全体(両面)にやすりをかける。
- 銅版の裏側(凹側)に裏引きをする。裏引きのゆう薬を1mm程度の厚さで満遍なく置く。  
キーホルダー等との接着面にはゆう薬がつかないように気をつける。  
\*ゆう薬の粘度はねりわさびくらい。(ななめにして垂れなければOK)
- 金網に乗せ、銅板の上全体に好きな色のゆう薬を乗せる。厚さは1mm程度を目安にする。
- 指導者がやけどをしないように手袋をし、火バサミを使って、炉の中のクラの上に作品を置く。  
全体があめのようななめらかになり、赤黒くなったら、金網ごと取り出し、室温でゆっくり冷ます。
- 銅板が冷めたら、キーホルダーなどとの接着面に金やすりをかけ平らにする。



- 接着剤で金具を取り付ける。
- 活動終了後、残ったゆう薬は集めて1つの皿にまとめる。整理整頓・清掃をしっかりする。

## 【指導上の留意点】

- 炉の近くは高温になるので、近付かないように指導しておく。
- 炉で焼く作業は必ず引率者が行う。
- できたばかりの七宝焼きは高温になるため、冷めるまで触らないよう指導する。
- 緊急性の高いアクシデントが起こった場合は自然の家事務室(内線213)に連絡する。

【参考】 ◎図画工作 ～ 造形的なよさや美しさ、表し方について考え、創造的に発想や構想したり、親しみのある作品などから自分の見方や感じ方を深めたりすることができるようにする。

教科との  
関連